

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道432号東岩坂バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 島根県
起終点 自：島根県八束郡八雲村東岩坂 至：島根県八束郡八雲村日吉		延長 8.1 km
事業概要 一般国道432号は、広島県竹原市を起点とし、島根県松江市に至る延長23.1.6 kmの幹線道路である。東岩坂バイパスは幅員狭小と線形不良の解消を目的とした、島根県八束郡八雲村東岩坂から同村日吉に至る延長8.1 kmの2車線道路である。		
S54年度事業化	都市計画決定なし	S54年度用地着手
全体事業費	約140億円	事業進捗率 64%
計画交通量	4,700台/日	供用済延長 3.8 km
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 4.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 38/181 億円 (事業費：33/168 億円) (維持管理費：5/13 億円)
		総便益 (残事業)/(事業全体) 170/226 億円 (走行時間短縮便益：185/235 億円) (走行費用減少便益：-15/-9 億円) (交通事故減少便益：0/0 億円)
感度分析の結果 残事業（事業全体）について感度分析を実施 交通量変動：B/C=4.9(1.4)(交通量+10%) B/C=4.0(1.1)(交通量-10%) 事業費変動：B/C=4.8(1.2)(事業費+10%) B/C=4.1(1.3)(事業費-10%)		
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道の離合困難・線形不良が解消される。） ・個性ある地域の形成（出雲・宍道湖・中海地方拠点都市地域の発展への支援が見込まれる。） ・災害への備え（緊急輸送道路ネットワークが形成される。） 他10項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 一般国道432号東岩坂バイパスは山陰山陽を結ぶ広域幹線道路であると共に、沿線地域の産業・文化の振興や日常生活を支える道路として期待されており、松江市をはじめとする関係1市1町1村の首長で構成される国道432号（松江・広瀬間）改良期成同盟会より早期整備の要望（平成15年8月1日）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 沿線は松江市のベッドタウンとして宅地開発がすすみ、近年人口増加が著しく、交通量も増加している。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成15年度中に用地買収の98%が完了し、別所地区、日吉地区工事着手しており、現在までに3.8 kmの部分供用をしている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 起点部の大規模地すべり地帯の対策工、日吉地区の多数の民家、店舗の移転に期間を要した。平成16年度には用地買収を完了させ、全線にわたり工事を展開し、早期に全線供用が図られるよう努める。		
施設の構造や工法の変更等 特になし		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由 以上のことを勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考える。		

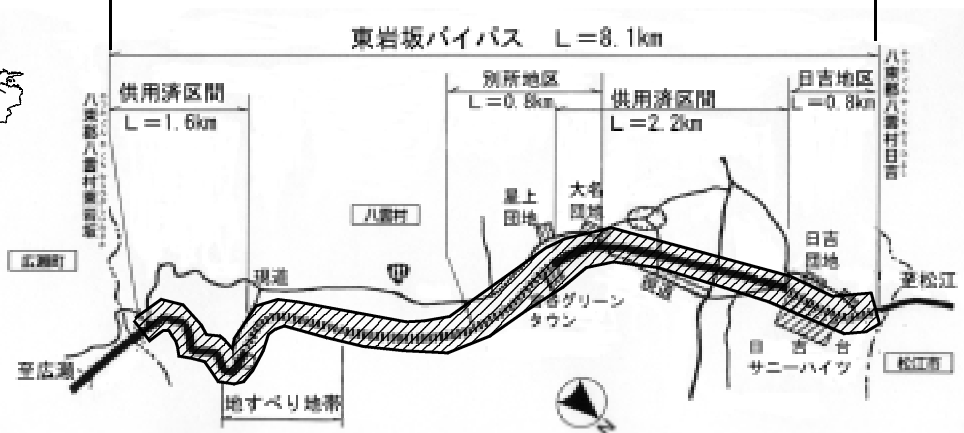
事業概要図

評価箇所



凡	例
	供用中
	再評価箇所

事業評価区間



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。